

国立大学図書館協会職員研修で被災地スタディツアーの講師・ガイドをつとめました (2016/06/17)

テーマ：東日本大震災，防災教育
場所：仙台市，名取市，岩沼市

6月17日，国立大学図書館協会・東北地区協会・平成27年度職員研修にて，参加者を対象にした東日本大震災被災地スタディツアーが開催され，当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）がガイドをつとめました．同研修会は，東北にある国立大学の図書館を対象にしたもので，今年度は東北大学図書館が幹事となって開催されました．今回の研修会では，宮城県での開催ということで，オプション研修として同ツアーが実施されました．

ツアーの行程は，会場である仙台メトロポリタンホテルを出発し，車中で東日本大震災に関する基本的なレクチャー，せんだい3.11メモリアル交流館，荒浜地区（いずれも仙台市），閑上地区（名取市），千年希望の丘（岩沼市）からなります．佐藤翔輔助教は，冒頭に東日本大震災の被害や復興過程の特徴について基礎的なレクチャーを行うとともに，以上のそれぞれのスポットを案内しました．



車中での基礎レクチャー



ガイドの様子（千年希望の丘）



せんだい3.11メモリアル交流館



名取市・閑上地区（慰霊碑）

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）